

マセラッティ作業サポートに関する注意点

クラッチディスク交換時に行う作業

①クラッチコンフィギュレーション

画面に表示している“新品時の数値”を“変更値”に入力する。

②リセットウェアインデックスを行う。

クラッチ当たりの初期化

③自己学習を行う。

各シフト位置の再学習

インストルメント内シフトインジケータの表示が変わっていきます。

機能説明

①クラッチコンフィギュレーション

ニュークラッチトラベルの数値を入力します。

新品交換時のクラッチリリース位置(数値)を書込みます。

②リセットウェアインデックス

クラッチウェアインデックスをリセットします。クラッチの繋がり具合に影響します。

③自己学習

クラッチおよびシフトセレクト位置を学習します。

④クラッチウェア

クラッチ残量の確認が行えます。%では表示しません。

参考

新品時の数値、現在の数値が表示します。

ディスクが磨耗していくと現在の数値は大きくなっていきます。

⑤ニュートラルエンゲージメント

何らかの理由でギヤが抜けられない場合強制的にニュートラル位置にシフトします。

⑥PIS コンフィギュレーション

PIS ポイントの数値を変更することによりミート位置を調整します。

極端に数値を変更するとエンスト、ギヤが入らない、ギヤが抜けられない等になります。

⑦センタリングアレンジメント

シフト油圧ユニットを脱着または交換時のみ使用します。

手順

1.シフト油圧ユニットを脱着または交換後、“センタリングアレンジメント“を行う

2.実測値を表示させた状態で基準値まで手動で調整(移動)する。

現在実測値は表示できない為、作業サポートから削除する予定

重要

クラッチディスクを交換しない場合に行ってもいい作業は、“クラッチウエア“、“自己学習“、“ニュートラルエンゲージメント“のみです。

その他の項目は、整備書が必要になりますので自己責任で行ってください。

どの機能も初めに表示していた数値を書きとめておいてください。

ミッションタイプの選択を間違えると数値が変わります。

弊社のソフトで対応しているミッションタイプは、SF1、SF2、SF3 です。